

6月の予定

- 1日(水) コスモ新聞 運営委員会
- 2日(木) 一級ボランティア 川崎、山田邦
- 3日(金) 養成講座 助アセンター長会議 北九州
- 4~5日 日本ケアシステム協会全国大会 北九州
- 6日(月) 定例会 午後10時~11時30分
ケア会議 午後事務所
- 8日(水) 運営委員会
- 8~9日 継続 施設実習 アソ、あいの里
- 9日(木) 一級ボランティア 松、細
- 10日(金) 養成講座
- 13日(月) 一級ボランティア 岩、保
- 13~14日 継続 施設実習 アソ
- 15日(水) 運営委員会
- 15~16日 継続 施設実習 アソ、あいの里
- 16日(木) 一級ボランティア 加藤、伊藤
- 17日(金) 養成講座
- 20日(月) 一級ボランティア 藤、大
- 20~21日 継続 施設実習 アソ
- 22日(水) 新事務所移転 運営委員会
- 22~23日 継続 施設実習 アソ、あいの里
- 23日(木) 一級ボランティア 洲、上野
- 24日(金) 一級在宅療養支援システム研修講座
- 25日(水) 運営委員会
- 27日(月) 一級ボランティア 嶋、黒
- 29日(水) 運営委員会
- 29~30日 継続 施設実習 あいの里
- 30日(木) 一級ボランティア 長、細

みんなの広場

食事の支度と掃除のお手伝いを、自信のないまま始めて九カ月が過ぎました。有償でもボランティアということは理解してはいたものの、実際に始めてみたら、やはり、それはボランティアではなく利用会員さんにとっては仕事としてみられていた。ボランティアさんにとってはボランティアの意識が甘えとなっていて、相手に不愉快な思いをさせてしまったり、こちらの不慣れで迷惑をかけたたりしたこともありました。

年齢差や礼儀作法、生活習慣、価値観の違い等で戸惑うこともありましたが「やっとかめだったなあ」の言葉に待って下さったのかと思うと胸の熱くなることもあります。

ボランティアだの仕事だのと拘りを捨てて、まごころをこめてさせて頂いていただくことで、自分がより成長し、いい出会いがたくさんできるような、出来る限りのケアをさせて頂いていただきたいと思います。(Y・K)

お礼 谷 一夫

外国のことは知らないが、我が日本では何かにつけてお礼が欠かせない。村社会の秩序を保つための生活の知恵が、現代にも生きている一つの例であろうか。

お礼が単なる「お礼」であるうちは何の問題もないが、出すタイミングと多寡を間違えると、「つけとどけ」あるいは場合によっては「賄賂」ということになり、大変なことにもなりかねない。

医者にかかったときの「お礼」をどうしたら良いかというのは、患者さんにとって結構頭の痛い問題のようである。何年か前、このことが社会問題となって以来、どこの病院でもその類いのものは、いっさい受け取らないことになった。患者さんもこのルールを守って、あまり医者や看護婦を困らせないでほしいものだ。病院にはいろんな人が働いており、医者や看護婦だけが患者さんのお世話をしているわけではないのである。第一、お菓子やウイスキーをもらったからといって、こちらには痛み止めをたっぷり、あちらにはちょっとびりなどということは何り得ない。

しかし我々開業医の場合は、ちょっと事情が違う。何年ものつきあいになる患者さんが、盆暮れに挨拶に来られるのをいちいち断るわけにもいかない。給食サービスを受けているような一人暮らしのおばあちゃんが、近くの市場でたいやきなどを買って持ってきてくれると、ありがたくて涙が出る。

(谷医院院長)

高齢者の為の ココシリーズ・ちょっと一品

豆腐と海草のサラダ タンパク質とビタミン、ミネラルたっぷりのサラダです

- ◆材料(2人分)
- | | | |
|-----------|------|-------------|
| ワカメ(ほどよい) | 40g | (ドレッシング材料) |
| 木綿豆腐 | 1/2丁 | しょうゆ 大さじ1 |
| きゅうり | 1/2本 | レモン汁 |
| トマト | 1個 | サラダ油 大さじ1/2 |
| | | コショウ 少々 |

- ◆作り方
- 1) ワカメは一口大に切り、熱湯をかけ、さます。豆腐は水けを切って、角切りにします。
 - 2) きゅうり、トマトは好みに切る。
 - 3) ワカメ、トマト、きゅうりを皿にもり、豆腐をのせて、ドレッシングをかけます。

食欲のない時にも、おすすめできる一品です。

ボランティアに思う

私は、いつも人間として少しハンディを持つた方々に何ができて、何が求められているかを考える場合に、まず自分自身がその正しい意味を知ることが大切ではないかと思っています。辞典でボランティア(VOLUNTEER)を引くと、福祉事業活動に、自主的に参加する人と書いています。ボランティアをすることは、相手に対して、やってあげると思いついた姿勢ではなく、やらせて頂くという姿勢が大切なことはいうまでもないことです。相手は、ボランティアの思いついた姿勢を敏感に察すると思うから、何も考えずただ自然体の気持ちで、無欲でなければならぬと思えます。どんな事でも初めの段取りや心構えをきちんとしていなければ、受け入れてくださる方に戸惑いが生じます。すなわち、いかにニーズを把握するかが大切になります。また、ボランティア活動は、相手に対して何も求めてはならない行為が大切であり、そうでなければ一回は受け入れられても次回からは違和感を感じ、不愉快なものとなります。ボランティアを継続することは、小さな行為を積み重ねることであり、時間を惜しむものではないと考え、人間の基本的なものとして相手を思いやる「心」が大切であるとも思っています。

ボランティア行為は、社会福祉の中でも、日常的に求められるとき重要な地位を示しています。ボランティアのはばを知るとき、そのものがどんなささいなことだと思っても、かかる場所、時、相手の実態が理解出来たとき、実質的なものへと変化すると考えます。仕事をしながら「まごころサービス」への入会で、私が何が出来るのか。福祉施設の直接処遇職員として、地域でのなんらかの実践主体になる必要性を感じ、意欲的に取り組みたいと思っています。(T・K)

